

平成30年度 厚生労働省委託事業
在宅医療関連講師人材養成事業 研修会
 ～高齢者を対象とした在宅医療分野～

日時 2019年1月20日(日) 10:00～16:00 日本医師会館 大講堂
主催 日本在宅ケアアライアンス (JHHCA)、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
共催 日本医師会
目的 全国都道府県医師会から推薦された受講者の先生等が、地域において在宅医療に関する進捗状況を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役、そして様々な研修会の講師役となれるよう本研修を位置付ける。

総合司会：和田 忠志 (全国在宅療養支援診療所連絡会)

プログラム [午前10:00～12:00]

10:00～10:05	開会の辞・本研修の目的と狙い 新田 國夫 (日本在宅ケアアライアンス)
10:05～10:20	地域包括ケアシステムと在宅医療 ◆地域包括ケアシステムにおける在宅医療への期待 鈴木 健彦 (厚生労働省) ◆地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ医の役割と医療介護連携 江澤 和彦 (日本医師会)
10:20～11:40	地域のなかで推進できる、求められるリーダー人材とは ◆System of Systems ～各地域で既存のシステムを活用し、境界を越え、新たにつながる統括システムづくり～ 飯島 勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構) ◆先達に学ぶ—求められる地域のリーダー役とは ～地域のニーズをどう拾い上げ、どのように推進・活性化していくのか～ 1. 坂戸 慶一郎 (青森県・健生黒石診療所) 2. 北西 史直 (静岡県・トータルファミリーケア北西医院) 3. 蔵谷 弘子 (香川県・みのりクリニック) 4. 志田 知之 (佐賀県・志田病院)
11:40～11:50	在宅医療の新規参入～ブラッシュアップ：学び方とアプローチの仕方 説明者：和田 忠志 (全国在宅療養支援診療所連絡会)
11:50～12:00	ワークショップの趣旨と進め方 説明者：草場 鉄周 (日本プライマリ・ケア連合学会)
昼食 (60分)	

プログラム [午後13:00～16:00]

13:00～14:20	ワークショップ ※1グループ：6～7名 [議論の視点] (参考例) ・System of systems概念を踏まえ、地域における課題と着手点 ・在宅医療推進のPDCAサイクルをどのように回すのか ・新たな医師や市民をどのように巻き込むのか ・リーダー役として、地域でなにができるのか
会場移動 (20分)	小講堂、他会議室から大講堂へ
14:40～15:55	発表・ディスカッション 進行：草場 鉄周 (日本プライマリ・ケア連合学会) コメンテーター：太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会) 鈴木 央 (在宅医療医歯薬連合会) ※6チーム各5分、「現状⇒課題⇒解決策」という形式で壇上にて発表 ※壇上でディスカッション
15:55～16:00	閉会の辞 江澤 和彦 (日本医師会)